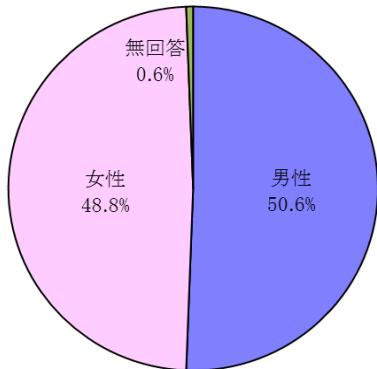


A-1 性別をお教え下さい

選択項目	人数	構成比
男性	84	50.6%
女性	81	48.8%
無回答	1	0.6%
合計	166	100.0%

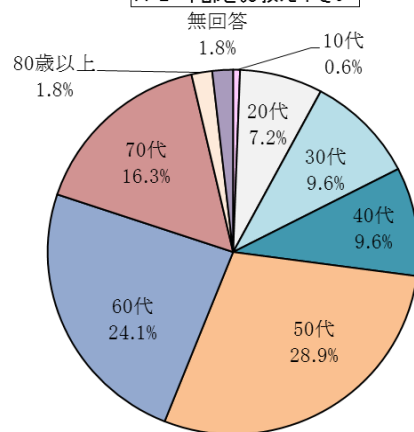
A-1 性別をお教え下さい



A-2 年齢をお教え下さい

選択項目	人数	構成比
10歳未満	0	0.0%
10代	1	0.6%
20代	12	7.2%
30代	16	9.6%
40代	16	9.6%
50代	48	28.9%
60代	40	24.1%
70代	27	16.3%
80歳以上	3	1.8%
無回答	3	1.8%
合計	166	100.0%

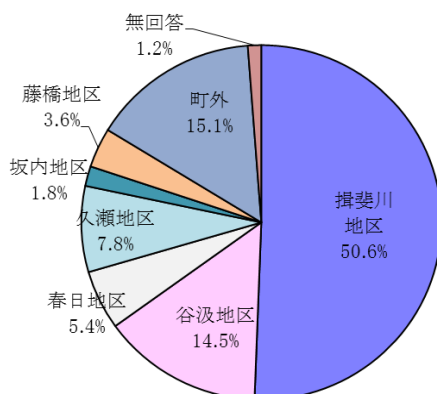
A-2 年齢をお教え下さい



A-3 どちらにお住まいですか

選択項目	人数	構成比
揖斐川地区	84	50.6%
谷汲地区	24	14.5%
春日地区	9	5.4%
久瀬地区	13	7.8%
坂内地区	3	1.8%
藤橋地区	6	3.6%
町外	25	15.1%
無回答	2	1.2%
合計	166	100.0%

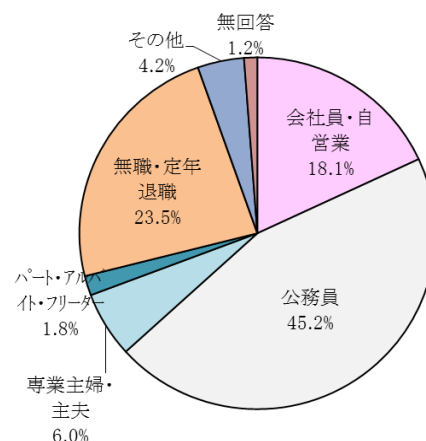
A-3 どちらにお住まいですか



A-4 ご職業についてご回答ください

選択項目	人数	構成比
学生	0	0.0%
会社員・自営業	30	18.1%
公務員	75	45.2%
専業主婦・主夫	10	6.0%
パート・アルバイト・フリーター	3	1.8%
無職・定年退職	39	23.5%
その他	7	4.2%
無回答	2	1.2%
合計	166	100.0%

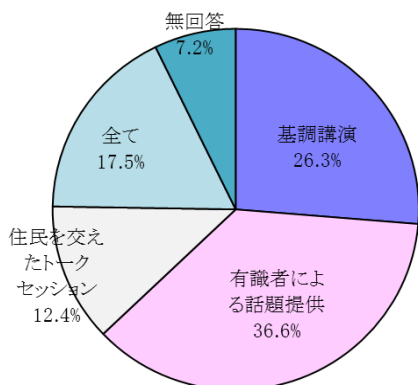
A-4 ご職業についてご回答ください



**B-1 今回のシンポジウム内容について、
どの項目に興味があって申し込みましたか**

選択項目	人数	構成比
基調講演	51	26.3%
有識者による話題提供	71	36.6%
住民を交えたトークセッション	24	12.4%
全て	34	17.5%
無回答	14	7.2%
合計	194	100.0%

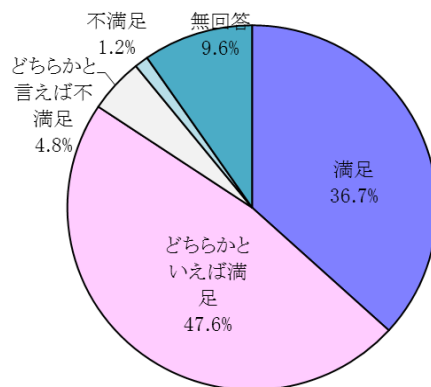
B-1 今回のシンポジウム内容について、どの項目に興味があって申し込みましたか



B-2 基調講演についてのご感想をお聞かせください

選択項目	人数	構成比
満足	61	36.7%
どちらかといえば満足	79	47.6%
どちらかといえば不満足	8	4.8%
不満足	2	1.2%
無回答	16	9.6%
合計	166	100.0%

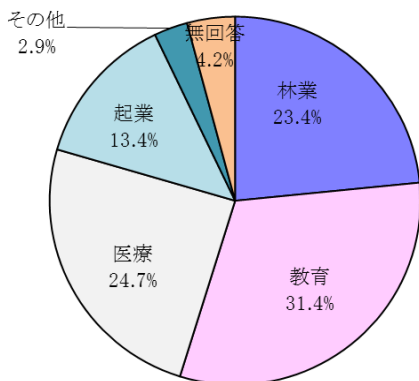
B-2 基調講演についてのご感想をお聞かせください



**B-3 シンポジウムに参加して、
特にどのテーマに興味を持ちましたか**

選択項目	人数	構成比
林業	56	23.4%
教育	75	31.4%
医療	59	24.7%
起業	32	13.4%
その他	7	2.9%
無回答	10	4.2%
合計	239	100.0%

B-3 シンポジウムに参加して、特にどのテーマに興味を持ちましたか



自由記述欄(主な感想やご意見を抜粋)

■地方創生全般について

- ・有識者の方のお話の中にキーワードが多くあった。一人一人が考え、知恵を出し合い、そして行政と一緒にまちづくりを考えることが必要。
- ・住民の意識が変わる、そしてさまざまな立場の人が連携することが大事で、それ以外に町が活気づく道はない。
- ・なぜ住民が出ていくのか。しっかりとした分析がなされているのか。
- ・人口減少、地球温暖化、子育て。大きな課題で結果がすぐに表れるものではなく、地道な行動あるのみ。
- ・都会から転入してもらうこともいいが、今いる若者が住める町をまず考えること。
- ・地方創生のスタートは人材育成から。有効な手立ては町民との対話の中から出てくると思う。若い人が思いっきり考えを述べられる社会づくりが不可欠。
- ・元気な生き生きとした地域づくりに少しでも役に立ちたい。
- ・男女ともに安定した雇用を確保すべき。若い方が働ける場所をもっと増やす。
- ・他に類のない〇〇〇の町、揖斐川町。と言えるように。
- ・地域の活動をひとりでもやっている。町の職員、地域に生んでいる人々の協力はあまりない。年をとっても地域に住みたいので、できる限り続けたい。
- ・自然が活かされていない。地域のコミュニティーが強すぎて、転入者の方への対応がややきつい。若者の元気がない。
- ・「健幸」を目指す。口だけ、中途半端はもういらぬ。行政職員は「逃げない」という意識改革を。

■シンポジウムの進め方や地方創生の進め方について

- ・トークセッションは大変良かった。
- ・もう少し住民の声を聞くトークセッションの時間があると、もっとおもしろかった。
- ・意欲があっても方法がわからないという住民や町職員も多いと思う。方法について分科会などを設け、一人一人の力を発揮できるともっと膨らんで良い。
- ・とても有意義なシンポジウムだった。これからも継続してほしい。
- ・こういったシンポジウムに参加したのは初めて。違った世界を経験できてよかった。
- ・もう少し期待していたが、揖斐川町のさみしい問題が多かった。
- ・もっと身近な話が聞きたかった。獣害で作物が一瞬の間に全滅し、生きる気力が失せた。

■各分野からの話題提供について

- ・揖斐川町が自然を活かして盛り上がるとよい。
- ・山林と水の恵みの活用。スマートグリッドを思考すべき。人口は減少しても資源の源は不変。
- ・森のようちえんの鳥取の事例が印象的。地域の声に行政が耳を傾け協働でつくりあげている。
- ・揖斐川町でイベント的に「森のようちえん」を行うことは可能。家庭の就労事情などあるので、賛同できる家庭しか参加できないなど課題はある。
- ・森のようちえんが素敵だと感じた。同じ考えの方が集まり運営しないと難しいが、子どもにはたくましく生きる力をつけてほしいので、やってほしい。若い力に期待。
- ・老人パワーを活かす支援・制度を作るべき。
- ・老後が安心できるサービスを(老人施設、町営タクシー、医療、買い物)
- ・ロハスをキーワードに、行政が起業促進を手掛けることが重要。
- ・ITインフラは揖斐川町は充足している。起業、個業の動機づけを考えることが必要。